

**Reducing The Initiation hurdle: Designing a Mutual-Liking Matching chat  
Approach for Text-Based Communication（会話イニシエーションの弊害を軽減  
する：テキストチャットにおける相思相愛マッチング手法の設計）**

**第一回  $\beta$  版学内外検証実験説明書**

本実験は以下の目的で行うものです。以下の項目をお読みいただき、  
実験協力に同意される場合は、同意書にご署名をお願い致します。

実験の目的

本実験では、コミュニティのメンバーが相互認証型チャットサービスを利用する際の体験を調査します。各参加者の体験詳細を通じて、デジタルテキストコミュニケーションに関する知見を得ることを目的としています。

実験者

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 修士2年 城山拓海（以下、城山）

実験参加者

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 学生約60名  
上記参加者の関係者（学外） 約140名

実験方法

以下の手順に沿って実験を行います。

1. 実験の説明および同意書、インフォームドコンセントへの署名(5min)
2. サービス体験前のインフォーマルインタビュー(20min)
3. サービス説明および利用準備(10min)
4. 体験フェーズ(2-3week)
5. サービス体験後のインフォーマルインタビュー(40min)

初めに実験内容の説明を行い、同意書および個人情報使用承諾書への署名をいただきます。その後、サービス体験前に既存サービス利用についてのインフォーマルインタビューを行います。その後、実際に新しく開発されたメッセージングサービス

Happy Ice Cream ウェブβ版（以下、HICβ）をご自身のデバイスに設定していただき、2～3週間体験していただきます。体験終了後、再度既存サービス・HICβの利用に関するインフォーマルインタビューをさせていただきます終了となります。

実験全体の所要期間は2～3週間を予定しており、インタビュー中以外は参加者ご自身に自由にサービスを利用していただく予定です。インタビュー中に休憩が必要な場合は遠慮なくお知らせください。

また、サービスをご利用いただくにあたり、スマートフォンホーム画面へのショートカットの設定、端末内の見やすい位置への配置、および通知機能の有効化の3点を必須事項とさせていただきます。

### 個人情報とデータの取り扱い

本検証実験では個人情報およびその他データを取得します。（詳しくは別紙に記載）体験利用中は匿名化されたHICβログデータを取得し、体験利用前後のインタビュー時は既存サービスおよびHICβ利用情報を口頭でお伺いします。インタビューへの回答は強制されず、少しでも抵抗のある場合は回答を拒否していただきます。

体験利用前後のインタビューで取得した情報は下記のGoogle Driveにパスコードロックをかけたzipまたはpdfファイルで保存されます。体験利用で取得したログデータは、体験利用期間中のみ一時的にサーバーレスのクラウドデータベースであるVercel Postgres（城山のみがアクセス権限を持つアカウントで管理を行う）に保管され、体験利用終了後速やかに、下記のGoogle Driveにパスコードロックをかけたzipまたはpdfファイルで保存されます。また、保存されたzipまたはpdsファイルのパスコードとアクセス権限は城山と指導教員岸博幸のみが保有し、情報は令和8年3月31日までに破棄されます。

体験利用時に記録されるログデータには個人情報が含まれますが、チャットの内容や個人名は全て暗号化（AES-256 ブロック暗号、TLS 1.2/1.3）されるため、城山を含めその他全ての他者がそのデータを見ることはできません。

取得したデータや個人情報は、匿名化（個人が特定できない状態）した上で、下記に記載した研究目的のみに使用され、それ以外の目的で利用されることは一切ありません。

サービス体験利用時に取得するデータ（詳細は別紙に記載）：

氏名、連絡先、デバイス情報、利用ログデータ（チャットの内容、個人名は暗号化されるため実験者を含め他者がそのデータを見ることはできません）

サービス体験利用前後のインタビュー時に取得するデータ（詳細は別紙に記載）：  
氏名、LINE 利用データ（主観）、HIC $\beta$  利用データ（主観）、HIC $\beta$  利用の感想（主観）

目的：

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科における研究報告（論文、学会発表、報告書等）

Google Drive：

Creative Industry（責任者：岸博幸）がアカウントを管理する学内専用ストレージ。本実験で取得された情報の管理責任は令和 8 年 3 月 31 日まで実験者である城山拓海と担当教員である岸博幸が負い、すべての情報は令和 8 年 3 月 31 日までに破棄されます。

### 安全管理

実験は参加者に身体的・精神的負担がかからないよう万全を期して行います。参加者に異変やトラブルが生じた場合は、即時に実験を中止し、参加者の状態回復を最優先に行動します。研究協力への負担感や疑問、精神的負担が生じた場合には、ご遠慮なくお申し出ください。

### 知的財産権について

研究の進展によって、特許などの知的財産権が生じる可能性があります。知的財産権の帰属は、研究者または慶應義塾によって決定され、データ提供者に帰属することはありません。

以上、何かご不明な点がございましたらご遠慮なくお尋ねください。

本実験へのご理解とご協力に深く感謝いたします。

【連絡先】

実験者

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 修士課程2年 城山 拓海

連絡先電話番号：080-2599-8222

Email : [tacomeat@keio.jp](mailto:tacomeat@keio.jp), [tacomeat@kmd.keio.ac.jp](mailto:tacomeat@kmd.keio.ac.jp)

研究責任者

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授 岸 博幸

Email : [hkishi@policywatch.jp](mailto:hkishi@policywatch.jp)

**Reducing The Initiation hurdle: Designing a Mutual-Liking Matching chat  
Approach for Text-Based Communication (会話イニシエーションの弊害を軽減  
する：テキストチャットにおける相思相愛マッチング手法の設計)**

**実験参加者が取得されるデータ一覧**

体験利用前後インタビュー

1. 体験利用直前の 1 週間で LINE において会話をした人数
2. 体験利用直前の 1 週間で LINE において話した話題の個数 (主観)
3. 体験利用直前の 1 週間で LINE において自ら新しい話題を切り出した (オープニングメッセージを送信した) 回数 (主観)
4. 体験利用中に LINE において会話をした人数
5. 体験利用中に LINE において話した話題の個数 (主観)
6. 体験利用中に LINE において自ら新しい話題を切り出した (オープニングメッセージを送信した) 回数 (主観)
7. 体験利用中に HIC $\beta$  において会話をした人数
8. 体験利用中に HIC $\beta$  において話した話題の個数 (主観)
9. 体験利用中に HIC $\beta$  において自ら新しい話題を切り出した (オープニングメッセージを送信した) 回数 (主観)
10. 体験利用時の感想 (主観)
11. インタビューの録音

オープニングメッセージは、「新しい話題を切り出す一つ目のメッセージ」と定義する。上記の情報は、1 対 1 の会話、またはテキストチャットにおいて主に Why 反復法を用いて行われるインフォーマルインタビューの中で尋ねられる。

体験利用時ログデータ

1. 会話をした人数
2. メッセージを送った時刻と回数
3. メッセージの文字数 (合計/平均)
4. アプリを開いた時刻と回数
5. オープニングメッセージを送った時刻と回数

6. オープニングメッセージを送った相手の人数
7. オープニングメッセージがマッチした時刻と回数
8. 送信されたオープニングメッセージの内容と時刻（送信者とは紐づかない）
9. アプリ開閉のログデータ
10. その他匿名化された利用ログデータ

追記：体験利用時に記録されるログデータには個人情報が含まれるが、チャットの内容や個人名は全て暗号化（AES-256 ブロック暗号、TLS 1.2/1.3）されるため、実験者城山を含めその他全ての他者がそのデータを見ることはできない。